

講演会「生物多様性と外来生物、最新情報」まとめ

講師：(NPO)日本バードレスキュー協会副理事長 高田みちよ氏

日時：令和7年6月15日 15:10～16:40

会場：クロスパル高槻視聴覚室

(NPO)日本バードレスキュー協会とは

ケガした鳥を 保護して リハビリして 自然に返す

落ちている鳥をみつけたらどうする？

- ・ケガのないヒナだったらそのままに（ヒナの巣立ちを親がそばで見守っている）
- ・ケガをしていたら、大阪府に連絡（交通事故など人為的なもの）
- ・大阪府が相手してくれなかったら、高田さんに連絡

○生物多様性の話

生物多様性条約

1993年12月29日発行し196か国が締結

COPとは条約締約国会議のことで、第15回は2021年昆明・モントリオールで開催

生物多様性

生態系の多様性、種の多様性、遺伝子の多様性の3つのレベル

生態系サービス

基盤サービス／光合成、土壌形成、栄養循環など

供給サービス／一時資源の供給（食料、水、燃料、医薬品原料など）

調整サービス／環境の調整・安定させる（待機、気候調整、局所災害の緩和）

文化的サービス／非物質的文化面の利益（精神的充足、レクリエーション）

美味しいものが食べたい／生き物の命をいただいている

鳥が見たい／日本はノゴマ、ツバメなどの移動経路として重要

生態系の4つの危機

第1の危機／人の生活や開発などによる危機

森林伐採、河川改修、沿岸部の埋め立てなどによる生き物の生息・生育地の減少

乱獲

第2の危機／自然に対する働きかけの縮小による危機

生活様式や産業構造の変化によって、それまで利用のために手入れされていた自然が

荒れて、生き物や生態系に影響を与えている

第3の危機／外来種などの持ち組による危機

人の手によって持ち込まれた外来種が野外へ逃げ出し、在来種に影響を与えている

第4の危機／気候変動による危機

生き物の分布域や、生育次期などに変化が起きている

ネイチャーポジティブ

2020年を基準年に、2030年までに生物多様性の損失を反転させ、2050年までに完全回復させる目標

30 by 30／ 2030年までの海と陸の30%以上を保全する目標

日本では陸域の20.5%、海域の13.3%を保護地域としているが、特に海の保全が出来ていない。実現は難しいだろう

OECD／保護地域以外で生物多様性保全に資する地域

自然共生サイト認定を申請しよう

たかつき環境市民会議から高槻市に呼び掛けよう（高槻市が申請するため）

津之江公園は、対象になると思われる

一人一人にできること

環境に配慮することやモノについて知ること

政治にもっと興味を持つこと（世の中の動きを知る）

消費者としてフェアトレード商品を購入するなどの行動すること

生物多様性国家戦略 環境省 HP

大阪府生物多様性地域戦略 大阪府 HP

砂の危機

生物多様性講座「砂濱の砂、その様々色や形、そして未来」

YouTubeのあくあびあチャンネルで配信

砂とは？／直径2mm～1/16mmの鉱物、より大きいと礫、より小さいと泥

土はこれらに有機物が混ざったもので全く別

砂はどうやって作られるのか

山の岩石を川が削って運んでくる

海岸の岩が波で削られる

貝やサンゴなどの殻を持つ生きものが死んで碎ける

今、砂が足りない！

砂の利用／コンクリート、埋め立て、鋳物の型、研磨剤、シェールガスの掘削、養浜
国連の2019年の報告で警告されている

埋め立てにも使われる／シンガポールの陸地が増えるとインドネシアの島が消える

使いやすい砂、使いにくい砂

川砂がもっとも使いやすい／世界的にとりすぎて規制対象になっている国が多い

海砂は、コンクリートに使用するためには洗浄が必要

砂漠の砂は使えない／粒が細かい、角が丸い、塩分が多い

ドバイの埋め立ては、すぐ側にある砂漠ではなくペルシャ湾の砂を使っているらしい

甲子園浜の砂浜

住民運動により干潟が残された。砂浜は川と切り離されたため砂が供給されず養浜している。

世界的に砂浜がピンチ

砂の過剰採取、川のダム、海辺の形

知ることは守ることの第1歩 砂のことを知ってください

高槻市の生物多様性は？

緑の基本計画 市 HP 参照

どんどん劣化している

高槻のヤマアマガエル／2025 年は 20 年前に比べて産卵数が激減

- ・ 卵を産むのは高槻では 3 月
- ・ 林に隣接する日当たりのいい水たまり
- ・ 林と水たまりの間に溝や道路があったらダメ
- ・ 水深は 10 cm ぐらい。30 cm を越えるとダメ
- ・ 流れていない水たまり。流れているとダメ

放棄田が増えている。水田・ため池が減少している

高槻市保護動物の更新をしませんか？

ヘイケボタル、ヒメボタルは減っている。

モリアオガエル、カジカガエルは減っていない。むしろヤマアカガエルを入れるべき。

カスミサンショウウオはヤマトサンショウウオに名前が変わった。20 年以上確認されていない。

市民会議にできること

- ・ 新聞・ニュース・ネット情報を気にする
- ・ 高槻の環境の変化を知る
- ・ わかったことを共有する

↓

世界はつながっている

- 政治の話をする、選挙に行く

↓

ローカルアジェンダで示して実行

○外来種の話

日本から外国へ

マメコガネ／アメリカで大豆に大被害をもたらしている

クズ／アメリカで大繁殖し、大きな被害をもたらしている

イタドリ／イギリスで大繁殖。土地を売るときにイタドリが生えていることを示さないと罰金。

ワカメ／世界の海で問題になっている（東洋人しか消化できない）

世界の侵略的外来種ワースト100に入る／コイ、ヒトスジシマカ、イタドリ、クズ、クリ桐枯れ病

全ての外来種が問題ではない

クローバー、ドバト、カラシナ、ヤモリ

在来種でも問題は起こる

伊吹山では、シカが草を食べつくし土砂崩れが頻発している

シカの生息数 1平方キロ当たり 伊吹山 60頭／適正 5頭

生態系が維持されるためにはバランスが大切

ナガエツルノゲイトウ

印旛沼では、ポンプ場の排水阻害などで大問題になっている。

土地の低い高槻南部はポンプ排水しており、繁茂すると排水阻害の恐れがある

2016年に梶原で確認された

2018年にナガエツルノゲイトウバスターズを結成し撲滅を目指してきた

これまでの継続した活動で量は減ったが、範囲が広がっている

シートを掛けて遮光したら2年で枯れるが、すき間から顔を出す

1本残ればまた繁殖するので、根絶は非常に難しい

生物多様性と外来種問題

私たちが安全に、文化的に暮らすために避けて通れない問題です

最後にもう一度 私たちにできること

- 自然共生サイト認定の申請をしよう
- 生物や環境のことを知ろう

- ・生物や環境のことを考えた商品を買おう
- ・国や企業の政策を知ろう

津之江公園バードウォッチング「高田組」

- ・毎月第1土曜日（変更の可能性あり）
- ・城西橋に9時集合
- ・津之江公園を1週して11時頃に解散
- ・参加費 800 円



文責：山崎文男